

受賞者氏名	安積伸	
所属	デザイン工学部システムデザイン学科	
受賞年月日	2025 年 10 月 15 日	
国内・国外	国内	
授与機関等名称	公益財団法人日本デザイン振興会	
受賞名	・ 2025 年度グッドデザイン賞 グッドフォーカス賞 [技術・伝承デザイン] ・ 2025 年度グッドデザイン賞 ベスト 100	
受賞(研究)内容 詳細	地球の環境を守り持続可能な生活を生み出す器「うづら」（精成舎）について ● 概要 佐賀県・肥前吉田焼の窯元により開発された、環境負荷の低い新素材・製造法を活用し、現代生活に適した生活器へと展開するプロジェクトです。プロダクトデザイナーとして参画し、製品企画とデザインを担当しました。 ● 環境負荷の低い新素材・製造法について 新たに開発された素材と製造法は、一般的な磁器に比べて約 1.5 倍の強度を持ち、焼成時に排出される二酸化炭素量も通常の磁器製造に比べて約 40%削減されています。さらに、この素材では製造時の不良率の低下にも取り組み、良品率 99%を達成しました。 ● テーブルウェア「うづら」のデザインについて このプロジェクトが、肥前吉田焼における新たな時代の幕開けとなるよう、製品デザインのテーマを「はじまりのうつわ」と決めました。製品アイテムの品ぞろえは、新生活を始める人にとって、これ一式で日常のほとんどの食事に対応できるよう、汎用性の高い構成を意識しています。人生で初めて一人暮らし、あるいは二人暮らしを始める方に向けて、機能的でありながら新生活の彩りとなるようなデザインを心がけました。器は 2 種類の色で展開しており、組み合わせることで、食卓に華やかさをもたらします。また、スタッキングやネスティングによる収納効率も高く、新生活を始める方へのギフトセットとしても適したものとなることを目指しました。 製品の意匠においても、「はじまりのうつわ」にふさわしく、日本で窯業が始まった時代の産物である「縄文土器」をイメージの源泉としています。縄文時代に調理や貯蔵のために使用されていた鉢や甕（かめ）は、縄目文様を除けば、驚くほど簡潔な姿をしており、人の手による温かみを感じさせる形状が特徴です。日本の窯業の原点ともいえるその時代に見出された、シンプルさと優雅さを備えた美意識を、改めて「はじまりのうつわ」として現代に蘇らせたいと考えました。 事業主体名： 株式会社 224（精成舎）	